

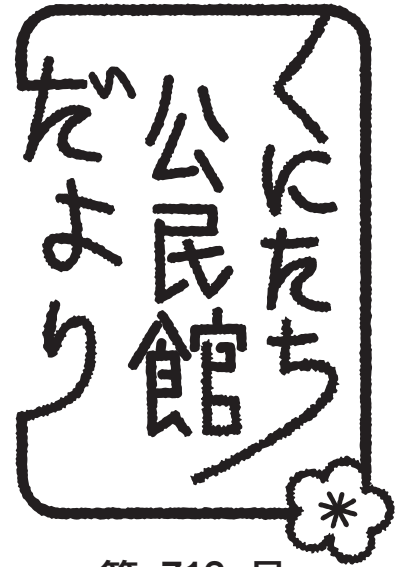
6月より始まる連続講座 参加者大募集!

平和について考える

—過去・現在を知り、未来を見つめる—

昨年度、国立市公民館では、私たちにとって最も身近な法である「憲法」について改めて学び、皆さんと一緒に考えてきました。その中でも、憲法前文からは、恒久の平和を念願し、世界の平和の維持に努めるという理念を学びました。しかしながら、私たちの身の周りから地域、社会、世界へと目を向けると、依然として、戦争や紛争、暴力、差別、抑圧、人権問題、環境問題等、私たち自身や社会、あるいは世界のどこかで、平和を脅かすようなさまざまな問題が生じています。こうした現状を踏まえて、国立市公民館では、今年度は「平和」について、色々な視点から皆さんと一緒に考えていけるような連続講座を企画していきます。

ご参加をお待ちしています。



第 712 号

2019年6月5日

(令和元年)

「くにたち公民館だより」
ホームページのQRコード▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

回	日時	テーマ	講師
1	6月29日(土) 昼2時～4時	紛争地の「今」と「未来」を語る ～南スーダンの現状と今後について～	吉川 智美 (NPO法人日本紛争予防センター(JCCP))
2	7月27日(土) 朝10時～12時	シリアの「今」から平和を考える ～ふるさとを失った難民たちの日々を通じて～	小松 由佳 (フォトグラファー)

※1回目の詳細は2面に掲載しています。2回目は7月号に掲載します。

ところ 公民館 地下ホール

定員 50名(申込先着順)

申込先 6月13日(木) 朝9時～
公民館 ☎(572) 51441

*1回からでも参加できます。

今月の公民館 (6月、7月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 13日(木) 夜 くになちブッククラブ
橋本治『桃尻語訳 枕草子 上』
- 15日(土) 昼 環境講座「身近な薬草と毒草」
- 16日(日) 昼 映画『道草』上映会
- 21日(金) 朝～母と娘のむずかしさ
- 21日(金) 夜* 図書室のつどい
「東京農業クリエイターズ」
シネボックス
- 23日(日) 昼* CINEVOX 公民館映画会
『椿三十郎』
- 29日(土) 昼 平和について考える連続講座①
「紛争地の「今」と「未来」を語る」
- 30日(日) 昼 国立市公民館・NHK 学園高等学校共催
「子ども・若者の育ちを支え合う地域づくり連携講座」
7月6日(土) 朝 キャリアデザイン講座

3月に開催した一橋大学連携講座は、「広島」を題材とした3回連続講座でした。「平和」に関連して、参加者の声をご紹介します。

一橋大学連携講座「広島」をめぐる知のプリズム～語り・空間・映像～を受講して
安斎 陽子

国立市に住んで15年以上が経とうとしていますが、ここ数年、国立市の平和なまちづくりへの機運が高まっていくのを感じています。くにたち原爆体験伝承者育成プロジェクトで第一期生として学ばせていただいたから4年。今年

は「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」も制定され、平和首長会議の開催都市にもなっています。ますます、平和への思いが高まる中、初めて公民館の一橋大学連携講座を受講させていただきました。

私が広島での原爆体験を受け継いでいる平田忠道さんが、1月に亡くなりました。平和への思いを自分の言葉で語り継ぐために学び続けたいと思っていましたところ、「広島」をテーマとした講座があると聞き、参加を申し込みました。全3回の講座は、「広島」がテーマではあるものの、切り口は三者三様でした。一番初めに、この

〈平和について考える連続講座①〉
紛争地の“今”と“未来”を語る
 ～南スーダンの現状と今後について～

講師 吉川 智美(NPO法人 日本紛争予防センター(JCCP))

アフリカ北東部に位置する南スーダンは2011年に独立した世界で最も新しい国。独立のわずか2年後に内戦が勃発。内戦は終結しないまま悪化の一途をたどり、住む場所を追われ国内避難民や難民となった人々が420万人以上に達します。2018年9月に新たに和平協定が結ばれましたが政情不安は収まらず、多くの国内避難民等は帰還できない状況。テントでの避難生活、食糧不足、戦闘や地雷の被害、国内避難民等の子どもへの少年兵勧誘など課題は山積しています。

現地の事業担当者である吉川さんに南スーダンの現状や紛争予防にむけた取り組みと今後についてお話を伺い、私たちができることを考えます。

とき 6月29日(土) 昼2時～4時
 ところ 公民館 地下ホール 定員 50名(申込先着順)
 申込日 6月13日(木) 朝9時～



講師のお話を熱心に聴いています

講座を計画された片岡佑介さんが「この講座を通して、同じテーマでも切り口が違えば、見方も違う、学問の面白さも感じてほしい。」とおっしゃっていました。講座を終えた今、各ご専門の切り口による講話にひき込まれたことはもちろん、様々な対象への迫り方を知

り、自分の知識が広がり深まることを通して、学ぶことの楽しさを感じることもできました。映画に映る白血病の被爆者…吉永小百合と広島風景の片岡佑介氏の講座では、原爆を題材とした映画を通して、被爆者のイメージが映画の中でどのように描かれ世間に受け止められていくのかわかることができました。「原爆を記憶する都市…広島はヒロシマか」の松尾浩一郎氏の講座では、被爆都市広島という観念とそれにまつわる諸問題を問い直され、改めて国立市で原爆を考え

る意義をつきつけられたように感じました。

「ヒロシマと『被爆体験の継承』」その歴史と力学の根本雅也氏の講座では、継承について、その歴史を知ること、現在に至るまでに様々な思いがあったことを改めて知ることができました。また、継承による副作用の側面を明らかにする中で、私自身、やはり原爆被害者が私たちに残してくれた言葉に繰り返し向き合い、問い続けることこそが大切なのだと再確認できたように思います。



和やかに意見交換も行いました

写真・映像を使つての説明もありました。全3回の講座で、「広島」を映像や空間、語りの切り口から見つめ直すことができました。そして「平和」について考えを深めることができたように思います。この講座で学んだことを自分のなかに蓄え、消化して、また自分の語りに反映できるようにしていきます。充実した貴重な学びの時間を与えていただいたことに感謝します。ありがとうございました。

—2019年度 公民館講座・催し年間予定—

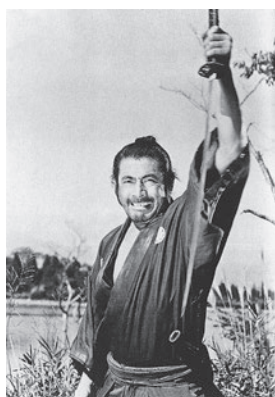
- ①現代社会の課題を考える
 - 憲法
 - 人権
 - 平和
 - 環境
 - 教育
 - 多文化共生
 - 新エネルギー
- ②共生の地域社会を育む
 - 女性のライフデザイン
 - 母と娘のむずかしさ
 - 男性の料理教室
 - 親子で遊ぼう考えよう
 - 世代間交流
 - 中学生のための学習支援
 - 青年講座
 - 青年室活動(コーヒーハウス)
 - シルバー学習室
 - ワークライフバランス
 - 老いとケア
 - キャリアデザイン
 - 科学技術
 - しようがいしゃ青年教室
 - しようがいしゃパソコン教室
 - パラスポーツ
 - 生活のための日本語講座
 - 日本語教育入門
 - にほんごサロン
- ③まちを知る、地域から学ぶ
 - 緑化活動
 - 地域資料
 - 地域史
 - 一橋大学院生講座
 - 一橋大学連携講座
 - 社会教育学習会
 - 利用者交流
 - 地域防災
- ④社会をみつめ、文化をつくる
 - 古典
 - 哲学
 - 作家と作品
 - 図書室のつどい
 - 映画会
 - シネマトーク
- ⑤表現と創作を楽しむ
 - 身体表現
 - 陶芸
 - 介護短歌
 - 俳句
 - 銅版画
 - 市民文化祭





監督 黒澤明 原作 山本周五郎 音楽 佐藤勝
出演 三船敏郎、仲代達矢、加山雄三、小林桂樹、入江たか子、団令子、伊藤雄之助、志村喬、田中邦衛ほか

日本が世界に誇る巨匠・黒澤明+名優・三船敏郎の黄金コンビの絶頂期を示す娯楽時代劇の傑作。名作『用心棒』の続篇で、三船演じる腕も頭も滅法立つ素浪人・ご存知三十郎(もうすぐ四十郎)が、御家騒動に巻き込まれた9人の正義感あふれる若侍を助けて大活躍!ラストの三船 vs 仲代の決闘はまさに圧巻!



〈シネマトーク〉「黒澤明の光と影」北里宇一郎(脚本家)
上映終了後、脚本家の北里宇一郎さんに黒澤明監督についてお話をうかがいます。

とき 6月23日(日) 昼2時~5時(開場1時)
ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

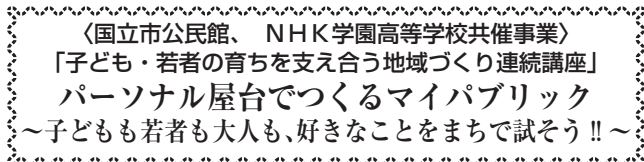
身近な薬草と毒草

講師 磯田 進(元昭和大学薬学部講師)

私たちの身の周りに生育している植物のおよそ一割が、薬用として利用されているといわれています。薬草は私たちの生活に深い関わり合いをもち、人類の歴史とともに歩んできました。そして試行錯誤を繰り返す育まれてきた人類の文化遺産でもあります。しかし、これらの薬草も使用方法を誤ると、薬用ではなく、有毒になってしまうことも珍しくはありません。

今回、薬草を安全に楽しむために、身近な薬草と毒草の正しい知識を身につけ、薬草と暮らしとのつながりを学ぶ機会にしたいと思います。

とき 6月15日(土) 昼2時~4時
ところ 公民館 3階講座室
定員 35名(申込先着順)
申込先 6月7日(金) 朝9時~
公民館☎(572) 5 1 4 1



子どもや若者にとって学校や自宅以外の居場所は、社会性や主体性、リーダーシップを育てるなど重要な役割を持ちます。しかし、そういった居場所へ一人で足を運ぶことに難しさを感じる子が多くいます。そこで、パーソナル屋台を活用したまちづくりの手法を使って、「自ら居場所を地域に作ることを目指す」連続講座を開催します。

自分のやりたい趣味や活動を商店街の軒下や公園の一角、文化祭や季節のお祭りに出店することで、成功や失敗にとらわれずに、社会との接点をつくり、人との出会い・交流を通じた居場所作りを目指します。

第1回目は、マイパブリックの考え方や事例紹介をはじめ、パーソナル屋台を活用したワークショップを行います。第2回目は、第1回目参加者の中から希望者により、出店をします。子どもも若者も大人も一緒に好きなことをまちで試してみませんか?

●1回目 講演&ワークショップ

講師 田中元子(パーソナル屋台プロジェクト推進者)

とき 6月30日(日) 昼1時~3時

ところ NHK学園高等学校
ABC教室

定員 50名(申込先着順)

申込先 6月11日(火) 朝9時~
公民館☎(572) 5 1 4 1



●2回目 パーソナル屋台の出店

出店先 くにたち朝顔市

とき 7月7日(日) 朝9時~昼3時

(出店時間に関しては1回目の講座内で決めます)

定員 7名程度

(1回目講座参加者で希望者。希望者多数の場合は抽選)

協力 くにたち富士見台人環環境キーステーション

コーディネーター 高野 宏(地域コーディネーター)

第64回くにたち市民文化祭

開催期間が決まりました!

今年のくにたち市民文化祭の開催予定期間が決まりました。展示や発表、一緒に参加できるものなど今年も盛りだくさんです。詳しい日程や行事の内容については、公民館だより10月号等でお知らせします。

◆開催予定期間

10月26日(土)~12月15日(日)

◆次回実行委員会

とき 6月20日(木) 夜7時~

ところ 公民館 地下ホール

問合先 公民館☎(572) 5 1 4 1

映画『道草』上映会

～知的しょうがいのある、彼らの一人暮らしとは？
はみ出したっていいじゃない!! 介護者とみる彼らの世界～
(2018年 映画『道草』制作委員会 カラー95分)

本映画は、ヘルパー（介護者）付きでひとり暮らしをする知的しょうがいしゃの人々を追ったドキュメンタリーです。



「暮らしの場所を限られてきた人たちがいる。自閉症と重度の知的しょうがいがあり、自傷・他害といった行動しょうがいがある方。世間との間に線を引かれ、囲いの内へと隔てられている、そんな世界の閉塞を、軽やかなステップが突き破る。東京の街角で、介護者付きのひとり暮らしを送る人たち。タンポポの綿毛をとばし、ブランコに揺られ、季節を闊歩する。介護者とのせめぎ合いはユーモラスで、時にシリアスだ。叫び、振り下ろされる拳に伝え難い思いがにじむ。関わることはしんどい。けど、関わりなくなることで私たちは縮む。だから人はまた、人に近づいていく。」上映後には、出演している彼らの自立支援をしている末永弘さんをお招きしてお話をうかがいます。

お 話 末永 弘（NPO法人グッドライフ：ヘルパー・介護コーディネーター）

〈末永さんの本〉：『知的障害者が入所施設ではなく地域で暮らすための本』（生活書院）

と き 6月16日（日）昼1時～4時30分
ところ 公民館 地下ホール 定員 50名（申込先着順）
申込先 6月7日（金）朝9時～
公民館 ☎（572）5141

母と娘のむずかしさ

～ミドル・シニア世代の女性に向けて～

講 師 ^{おおみか} 大美賀 直子
(メンタルケア・コンサルタント、公認心理士精神保健福祉士)

母と娘。同性であるがゆえに心理的な距離が近く、だからこそ難しさを感じていませんか？

「子育てが一段落し、母との関係や娘との関係を振り返ってみたい」「母娘関係が密着しすぎて何だか息苦しい」「娘との関係がぎくしゃくしている」「年齢を重ねた、あるいは亡くなった母との関係がしこりになっている」……想いや悩みは人それぞれ。母として娘として、母娘（おやこ）関係のしくみを学び、家庭の中で今起きている現象を振り返ってみましょう。母と娘が“ほどよい”家族関係を築ききっかけになればと思います。



※この講座は、おおよそ40代以降の女性を対象とした内容となっております。20代～30代・幼いお子さんをお持ちの子育て世代の女性を対象とした講座も秋以降に企画予定です。

と き 6月21、28日・7月5日
(全3回、いずれも金曜日) 午前10時～12時
ところ 公民館 3階講座室
定 員 女性20名 (申込先着順)
申込先 6月7日（金）朝9時～
公民館 ☎（572）5141

平成30年度 公民館の施設利用状況について

公民館は社会教育施設として、市民等で構成されるグループや団体に会場を貸し出しています。活動目的や人数に応じて、大・中・小の集会室、講座室、ピアノのあるホールと音楽室、調理のできる実習室、着付けや茶道のできる和室の8つの部屋があります。

時間帯別会場利用率は以下の表のとおりです。

■平成30年度 時間帯別会場利用率

(単位：%)

会場(定員)	ホール (85名)	音楽室 (20名)	集会室 (30名)	講座室 (35名)	中集会室 (20名)	小集会室 (10名)	和室 (20名)	実習室 (10名)
午前	94.2	82.6	78.6	74.7	85.2	72.6	69.1	71.9
午後	95.1	90.9	90.0	88.5	89.1	79.9	77.4	81.9
夜間	93.5	81.2	69.0	61.7	68.8	73.7	52.1	48.4

(注)利用率の算出処理上1日の利用時間を、午前・午後・夜間の3区分に整理。1区分に複数回の利用があっても1回分の利用とみなして利用回数を再算出し、この算出数を年間開館数で割り、利用率を算出している。

〈くにたちブッククラブ 言葉に寄りそい時間を超えよ〉

橋本治「桃尻語訳 枕草子 上」

(河出文庫)

講 師 金井 景子 (早稲田大学・日本近代文学)

と き 6月13日(木) 夜7時半～9時半

と ころ 公民館 3階講座室

申 込 先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み
を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

〈図書室のつどい〉
新しい農ライフをデザインする

東京農業クリエイターズ

お 話 小野 淳 (NPO 法人くにたち農園の会)

農業をやってみたいと思ったことはありませんか？

いま都市農業への関心は、高まってきており、法的な規制緩和も急速に進んできました。それを追い風に、都市での農業参入を検討する企業や団体、それだけでなく個人が立ち上げる農関連の事業も、これからもっと増えていくと予想されます。

NPO法人くにたち農園の会の理事長である小野さんは、都市農業は、地域を育て、多くの人を幸せにできる可能性がおおいにある。何よりやっていて抜群に面白く、これからの日本にとって重要な「産業」になるかもしれないとおっしゃいます。

小野さんご自身が関わる「くにたち はたけんぼ」での物語を通して、「農」の可能性についてお話いただきます。

〈小野さんの本〉『東京農業クリエイターズ』(イカロス出版)、『都市農業必携ガイド』(農文協)

と き 6月21日(金) 夜7時～9時

と ころ 公民館 3階講座室

定 員 35名(当日先着順)

*申し込みは不要です。ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

キャリアデザイン講座
～プロティアン・キャリア理論から学ぶ
自分の好きを大事にした変身し続ける人生戦略～

講 師 田中 研之輔 (法政大学)

人生100年時代を迎え、多様化する働くことへの価値観に対応するようにさまざまな働き方を実践する方も増えています。働き方や暮らし方など、生き方も大きく変わりつつあり、それは自分の「好き」を大事にして、自由な選択をできる時代でもあります。そんな時代にあった新しい考え方を取り入れ、自分なりの将来を描く力が求められています。

この講座ではキャリアデザインの観点から、キャリアは組織によってではなく、個人の志向に応じて変幻自在に転換していくという「プロティアン・キャリア理論」の考え方の基本的な枠組みを学びます。講座は講義、ワーク形式の双方向で展開していきます。

変化の激しい今の時代だからこそ、自分らしくどう生きていきたいか、考えてみませんか？

と き 7月6日(土) 朝10時～12時

と ころ 公民館 3階講座室

定 員 25名(申込先着順)

申 込 先 6月11日(火) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

公民館運営審議会報告

5月14日(火) 第32期第7回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名出席。傍聴者4名。

前回・前々回議事録確認

報告事項

○委員交替

若林委員に代わり、5月より田中委員が新メンバーに。

○公民館だより編集研究委員会

図書室のつどいでは、SNSを見た中高生が参加してくれた。

○社会教育委員の会

国立市生涯学習振興・推進計画素案への意見書について、庁内検討委員会より回答があった。

○東京都公民館連絡協議会

今年度活動方針について討議。

協議事項

○社会教育委員の推薦

立候補2名による話し合いで推薦者が決まらなかったため、無記名投票で決めることになった。結果、富田委員が推薦者として選ばれた。一方、前回出されたくじ引きについての異議も出された。

○市民からの要望書について

公民館での市民の学びの自由について議論すること等といった市民からの要望について議論した。

また、社会教育学習会検討委員が今後の定例会で学習しているよう

う検討してやることになった。

○昨年度主催事業の報告と決算

公民館長より、昨年度の事業と決算報告があった。質疑等については次回実施することとなった。

次回定例会は6月11日(火) 夜7時15分から。傍聴歓迎。(高野)

ひろば

(6ページにもあります)



くにたち短歌の会 参加者募集

作歌のうまい、へたに関係なくその気持ちやところを大事にして、楽しいひと時をすごしています。はじめての方、大歓迎です!! おためし参加してみませんか?

日時 毎月第三木曜日 昼1時半

場所 公民館 実習室か小集会室

連絡先 成松090(5307) 0836

北卓球同好会 参加者募集

卓球が大好きな人の集まりです。小学生から85才まで楽しくやっています。(無料です)先生はいませんがベテランの人がやさしくおしえて下さいます。

日時 木曜日夕6時半～8時45分

場所 第四小学校 体育館

連絡先 高橋(572) 5854

リトミック さくらんぼリズム

クラス体験のご案内。ピアノの音に触れながら親子でリトミックを始めませんか。1オクターブ、2オクターブがあります。体験費500円。詳細はお問合せ下さい。

日時 月3回火曜日 朝10時

場所 芸術小ホール 音楽練習室

連絡先 阿部090(6958) 2783

ひろば

(5ページにもあります)



ソフトテニスへのお誘い

平日青空の下、ラケットを振り
快い汗を流してみませんか。老若
男女を問わず初心者も歓迎。月一
回コーチ指導もあります。

日時 毎週火、木曜日
場所 谷保コート、広場コート
連絡先 金藤(57) 2896

「テニスクラブファイティ」

50代〜60代の方でテニスを多少
経験されている方、私達のクラブ
で楽しくテニスをしてみませんか。
大学生のコーチが指導とダブルス
戦もしてくれて大変楽しいですよ。

日時 毎週木曜日 朝10時〜12時
場所 谷保第三公園テニスコート
連絡先 望月090(145) 0695

水彩画「パレット」作品展

第14回サークル会員による作品
展を開催致します。今回も目頃楽
しみながら描いている作品を、展
示いたしますのでご覧下さい。

日時 6月15日(土)〜22日(土)(17日休)
朝10時〜夕5時
場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 釧持(57) 2495

数学を楽しむ集い(6月期)

6月は「円錐曲線(その3)」、「体積」、「成長曲線」等を一緒に考えてみましょう。きつと数学を身近に感じていただけます。お気軽にお越し下さい。

日時 6月15日・29日(土)昼1時〜
場所 公民館 中集会室
連絡先 山本(57) 1028

くにたち国際友好会WING

6月の異文化コミュニケーションの会は、ルーマニアの歴史・文化・諸事情について、一橋大学の留学生ウンゲル・アンダさんに紹介していただきます。

日時 6月20日(木) 夜7時〜9時
場所 公民館 集会室
連絡先 和田090(349) 2110

憲法とわたしたち連続講座No.53

戦後75年の2020年に衆参両院共、改憲派が多数になれば、憲法改正実現の可能性が高まります。地方自治の現状が問われることになり、多くの方のご参加をどうぞ。

日時 6月29日(土) 昼2時〜
場所 公民館 小集会室 資料代500円
連絡先 当実行委(57) 1726

マトリョーシカの会コンサート

東京外国語大学ルムークと会員とのコラボレーションのほか、参加者全員でロシアの歌を歌うコーナーもあります。カナ付きの楽譜あります。資料代500円

日時 6月30日(日) 朝10時〜
場所 公民館 地下ホール
連絡先 大貫(57) 5214



賑やかに始めましょう
渡辺浩男(富士見台)

公民館の外壁工事を 実施します

公民館は、建築基準法に基づき調査によって外壁改修工事を実施することになりました。大きな音が出る工事は7月から10月までを予定しています。工事期間中の施設利用に際して、駐輪場等の閉鎖、工事打刻音などの騒音が生じることが想定されます。ご利用の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、安心してご利用いただける施設づくりを目指しますので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

公民館 ☎ (57) 5141

〈サークル訪問332〉

くにたち発達しょうがいを考える会

「太陽と昴の会」

太陽と昴の会は、自閉症スペクトラム、注意欠陥多動性障害、学習障害など、様々な困りごとについて考える、国立在住・在勤の家族・支援者・当事者が集まる会だ。「昴(すばる)」とは、プレアデス星団の古来の呼び名。「すばる(統ばる)」、「一つに集まる」という意味を持つという。「地域の人と知り合いたい」という一人の親の声から、2007年に活動を開始している。ふた月に一度のペースで、情報交換・おしゃべり会を開いたり、専門家を招いての学習会を企画するなど、活動内容はさまざま。

筆者が訪問した2月の会では、午前中の2時間を使い、作業療法士の先生を招いての座談会が行われた。このときの参加者は8名。多くは小学生のご両親で、中には成人の息子のことで相談に来られた方も。母親だけでなく、2名の父親も参加されていた。

「子ども向けの作業療法士を探しても、なかなか見つかりません」「違和感を強く感じる食べ物があり、偏食気味で心配です」。それぞれの親から質問や困りごと、相談

談ことが先生に投げかけられ、それに対して先生が専門家の立場から応えていく。

「うちの場合は、一週間学校を休むことも許したよ」。後半になつてくるにつれ、参加者からの経験談やアドバイスも出されるように。時には「自分の子どもが大声でさわぐと疲れ切ってしまう」といった本音の発言も出され、それを会のメンバーで受け止める場面も見られた。

具体的な相談事だけでなく、親として努めてきたこれまでの苦勞や思いを安心して打ち明けることができる、貴重な場であるように感じられた。悩んでいる方、情報交換をしたい方を歓迎しているという。

日時・場所 次回は7月15日(月)・祝)午前です。詳細はお問い合わせください。
連絡先 鈴木080(343) 6395

〈文・末光翔〉

※会の希望によりサークルロゴとホームページのQRコードを掲載しています。

